

福竜丸だより

都立・第五福竜丸展示館ニュース

(財) 第五福竜丸平和協会

〒136 東京都江東区夢の島3-2
都立・第五福竜丸展示館内
電話 (521) 8494

夾竹桃咲く夢の島へのお誘い

平和協会専務理事 広田 重道

平和教育上の場としての展示館
私は、去る八月三・四日に東京でひらかれた81原水禁世界大会の国際会議に参加し、その第三分科会(軍縮・平和教育の前進のために)の席上で、第五福竜丸展示館の平和教育の役割、という内容を訴えました。

その主眼点は、第五福竜丸が平和教育上の場として世界にも誇るべき重要な施設であることの強調と、広島・長崎の資料館、丸木美術館などとともに福竜丸展示館をもっと真剣に活用すべきであるとの提案でした。

人類破滅の時代

広島・長崎の原爆被災が、第二次世界大戦の末期におきた戦争被害であり、ビキニ水爆被災は激化する核軍

平和教育は何よりも急務

ノーマア・ヒロシマ・ナガサキ・ビキニの警鐘は、いまこそ乱打されるべきです。

また、広島・長崎の時代を知らず、ビキニ事件を体験していない新しい世代をふくめて全国民に、核問題に正しい目をむけ、核兵器廃絶の緊急かつ人類的な

課題であることを理解させることは、平和教育の当面する最大の急務であります。

その平和教育の方法、手段は多岐、多様であります。しかし「即物的な教育手段」としての第五福竜丸展示館の存在は、きわめて重要であります。

第五福竜丸展示館の活用を
去る七月末現在で展示館への来館者は通算二三万名を若干こえています。決して少ない数ではありません。しかし、東京一千万名の人口に比べて僅かに二%

強です。私どもとしては、少くも百万人ぐらいの人には見学して頂きたいのです。

いま、むづかしい核問題が国民の目の前に山積し、一方では核アレルギーなどの名目で、日本国民の核兵器廃絶の当然の要求を消し去ろうとする動きが露骨になっていきます。

そのとき、平和教育の立場から、夾竹桃の咲く夏の夢の島に一人でも多くの方をお誘いしたいと思ひます。

毎年、八月になると、広島や長崎の被爆の実相が、いろいろな角度、資料によって、新聞、テレビ、ラジオ、雑誌などマスコミを賑わせます。

それは、それなりに、八・六と八・九の重みがひしひしと感ぜられます。

編集後記

しかし、秋風とともにその一種の昂奮がさめ、忘れ去られるのは、いかにも夏の陣という感があり、割り切れません。とくに、靖国公式参拝だの、戦没者慰霊祭だのと、軍国主義華かなりし頃の亡者が騒ぎはじめているとき、せめて世界大会の成果が生き生きと日常行動になることを切望します。

福竜丸展示館は年中、開かれています。その主の福竜丸は毎日、毎日、来館者に語りかけた

日常不断の原水禁運動として展示会への見学の波が、全国をくまなく洗うことを

(H)

来館者の声から

第五福竜丸のことは前から知っていました。現在、核(軍事用)が存在していることは、とても悲しいことであり、世界の人々が一人一人あつてはならないことだと思ひます。しかし、いいかっこしようというだけで核を作っているアメリカ・ソビ

エトはとても許せないと思ひます。この展示館にきて感動し、とてもおもしろいというよりも、こういうことは二度とくり返してはならないというほうが、ぼくは本当の人間の気持ちだと思ひます。私は一九五四年にはこの世にいませんでしたし、親はこのよ

この第五福竜丸は、戦後の核問題の大切な証言者であり、世界でただ一つの被爆国であるわが国の平和のシンボルの一つなのだと思います。ともかく、今年の原水禁禁止世界大会で国民にぜひアピールをして世界の平和を訴えるようがんばってください。

宇賀神秀徳 13才

核実験の話は何回か聞いたことがありました。でもこの船の話は聞いたことがなく、このよ

みどり

展示館見学感想文集

「船を見つめた瞳」(仮題)

As判・一〇〇頁・9月発行予定

お知らせ

8月6日~15日・10時~18時・ギャラリールから

「女性として科学者として」
新日本出版社刊・四六判・二二五四ページ、千二百円。

▼81ひばくしゃ追悼集会(第五福竜丸展示館前広場。東京宗平協後援)
8月9日・14時~16時。第五福竜丸展示館前広場。東京山手教会の聖歌隊も参加。

▼豊崎博光写真展・核がつくりだす風景ーヒロシマ・ナガサキそれから

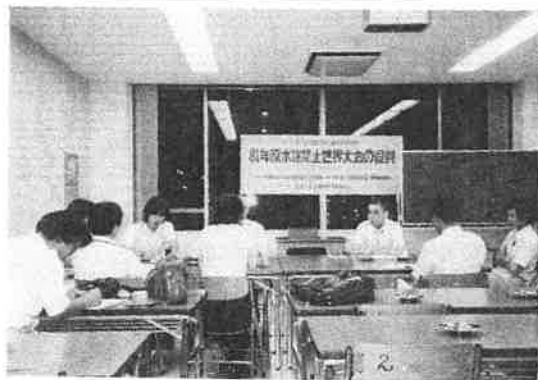
▼猿橋勝子さん新著出版
「女性として科学者として」

アメリカ(港区元赤坂一三
一八、四〇三ー一八九六)
▼島田興生氏ビキニへ取材
8月2日出発、ビキニ、エニウェトク、ロンゲラップ、クエゼリンなどマニシャル諸島を年内いっぱいかけて取材の予定。

原水爆禁止の国民世論を高めて

第17回ビキニ事件を知る集いひらく

「81年原水爆禁止世界大会の役割——私たちからの提言」とNGOの近江幸正事務局長のおう格好のテーマで第17回ビキニ事件を知る集いは開催。七月十七日、江東区民センターに、猛暑の中、十名が参加。いつもは多数参加する学生のみならずも夏休みか参加が少なく残念なこと。日本被団協の伊東壮代表



秋の行動を盛りあげよう

新評議員を選出——第44回理事会ひらく

去る七月十七日、正午より、神田・学士会館で、平和協会第44回理事会が開催されました。会議には、三宅泰雄会長、広田重道専務理事、田沼肇、本多喜美両理事が出席。八一年原水爆禁止世界大会への代表派遣問題や、秋に向けての行動計画、評議員の任期満了にともなう改選問題など盛沢山の議題について

●第44回理事会で決定した新評議員(敬称略)
 秋月辰一郎、伊東壮、石井あや子、内山尚三、小笠原英三郎、小川岩雄、小野周、川崎昭一郎、草野信男、斉藤鶴子、猿橋勝子、庄野直美、関屋綾子、服部学、福島要一、森滝市郎、山口勇子、吉田嘉清。
 以上十八氏、なお欠員の二名については今後検討することになりました。

●理事会で決定した秋の行動予定の大綱は次のとおり。
 9月 23日 故久保山愛吉氏追悼記念集会(展示館前広場。同日 展示館見学感想文集第一集発行
 中旬 久保山忌俳句会
 下旬 同作品展(展示館)
 下旬 第45回理事会と拡大評議員会(学士会館)
 10月 上旬 第18回ビキニ事件を知る集い
 上旬 中旬 第五福竜丸と展示館を描くスケッチ会と作品展(展示館)
 下旬 資料室募金達成、資料収集のためのこんだん会
 11月 中旬 協会創立七周年記念資料展(展示館)
 中旬 協会創立七周年記念祝賀会
 下旬 平和協会ニュース七周年記念号発行
 下旬 十一月展示館内展示替作業

壁面いっぱい第五福竜丸の大漁旗

みんなが参加した西宮市役所の「ヒロシマ・ナガサキ原爆写真展」

七月二十一日から六日間、兵庫県西宮市で「ヒロシマ・ナガサキ原爆写真展」が盛大に開催。市長さんが会長という超党派の原水爆禁止西宮市協議会が主催したもので、広島・長崎両市・広島平和文化センターと共に協会も後援、ビキニ事件にかんする写真パネル30点余をはじめ第五福竜丸の大漁旗、乗組員の衣



核兵器廃絶・人類生存のために

原水爆禁止一九八一年世界大会ひらく

「核軍拡競争の厚い壁を打ち破る重苦しい責任を果す、正念場の大会、国民ひとりひとりの参加を(大会へのよびかけ)」と原水爆禁止一九八一年世界大会が八月、壮大に始まりました。三日・四日の両日、東京でひらかれた国際会議には、三宅会長、広田専務理事、本多理事が協会代表として出席、長崎での

保存運動の育ての親 大沢三郎氏逝去

七月二十二日、品川の荏原



文化センターで、十一日心不全で急逝された故大沢三郎東京都議会議員の葬儀が厳粛におこなわれ、協会から広田専務理事が参列、弔辞をのべました。大沢氏は、夢の島で発見された第五福竜丸の最初の名義人となるなど、保存運動の当初から常に先頭にたって活躍され大きな業績を残されました。(写真は刻名式の除幕をされる大沢氏・一九七〇年)